



.....
 1月の生活目標
規則正しい生活をしよう

「辰」の年に思いを込めて ～単元を創る幸せ～

校長 山下裕司



新年を迎え、3学期がスタートしました。

甲辰の年が、皆様にとって飛躍の年でありますようにお祈りいたします。

さて、本学校だより11、12月号で、来年度の学校の方針の骨格をお伝えいたしました。私は、「改革なくして前進無し」と常に考えております。これは全てを壊し斬新なものに変えるということではありません。目的、志は変えず、それに向かう方法論は数え切れず存在し、その中からより良い方法を見いだしていくことを改革と捉えているのです。これがベストだと考えるとそこからは、前に進み難い。まだまだより良い方法はあると思えば、永遠に改善は続くのです。ベターを求めて改善を図ることが改革であり、改革なきは、停滞か衰退しかないと思うのです。

令和5年度は、「子どもの文脈で学習できる単元開発」を組織目標、校内研究の研究主題として、学年・専科が協働して開発に取り組みました。子ども一人一人が、自分の文脈をつくることができるように、わくわくするようなゴールを設定し、それに向けて一人一人に問いをもたせる効果的な単元の導入を工夫しました。その問いから子どもたちは、スパイラルに探究していきます。その時、教師は、子どもたちの目に学びに対する意欲的な心と仲間と協働して解決していく姿を見たのです。この心と姿に教師は、驚きと喜びを隠せません。子どもの主体性を信じ、任せることは決して放任ではなく、そこで一人一人の状況が的確に捉えられ、思いもよらぬ発想や考えが生まれることを知り、学びの本質をつかむことができたのです。時には、45分間、子どもたちが一斉に黒板に向かう授業もありますが、その姿も今までとは違っています。教師の発問が変わり、正解を求めるのではなく、多様な考えを引き出すマネジメントにより、子どもたちの頭が、アクティブになっている、これも個の探究なのです。

単元開発を通して、三小の教師は、どんな時代にも求められる普遍的な教師像を認識しました。それは、玉川大学教授 柳瀬 泰 氏の著書『教えるということ 学ぶということ』（2023年9月 学校図書）にありました。

「今次の学習指導要領が掲げている深い学びの実現も、中央教育審議会答申(2021年)が唱える個別最適な学びの充実も、子どもと教師が『学びの幸福感』を共有してこそ真に成立していくものです。」

本当の学びの楽しさ、授業の楽しさは、教師自身の単元を創る幸せから生まれるものなのです。願い求め空を舞いあがる龍のごとく、単元開発に幸福感をもって、今後も前進します。

1月の行事予定

月	火	水	木	金	土
1 元日	2	3	4	5	6
8 成人の日	9 始業式 4時間授業	10 給食始 計測(6年)	11 計測(5年) 大掃除	12 朝読書 計測(4年)	13
15 B 委員会 計測(3年)	16 児童朝会(1・2年) 計測(2)	17 集会 計測(1)	18	19 朝読書 スマイルフェスタ(5年)	20
22 B 学校公開(書写展) クラブ 防災教育(1年)	23 児童朝会(5・6年) 学校公開(書写展) 防災教育(2・4年)	24 音楽朝会	25 なかよしグループ	26 朝読書 書写展終 理科・社会見学(4年)	27
29 B クラブ	30 児童朝会(3・4年)	31			

教室の窓 ～伝統文化に親しもう～

第5学年担任 荒川 直子

5年生は、道徳の学習を通して、受け継がれていく伝統や文化について学習しました。それに続き、総合的な学習の時間「伝統文化に親しもう」では、伝統文化について調べ、身近にあるものや芸能・文化・スポーツの中にも受け継がれているものがあることを学びました。

12月21日（木）には、講師の先生をお招きし、和太鼓についてのお話や演奏をきかせていただきました。和太鼓がどうやって作られるのか、どんなふうに使われてきたのか歴史を聞くことで、子供たちの興味が高まりました。さらに体験では、3人で1台の和太鼓を大きな大きな掛け声と共に全身を使って叩きました。先生のリードでみんなの気持ちを合わせて演奏し、あっという間に時間が過ぎていきました。実際に体験し、音を体で感じ、演奏する楽しさを味わうことができた貴重な時間でした。

3学期には、国語「和の文化を受けつぐ」で、それぞれが興味を持った伝統文化について調べ、パンフレットにまとめていきます。伝統文化に触れたこの体験を生かし、その歴史や受け継いできた人々の思いに触れ、それぞれの学びを深めていきたいです。そして、いよいよ最高学年になる準備が始まります。



三小の総合的な学習の時間について

総合担当 相馬 秀律

総合的な学習の時間では「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決できる人」「人や社会、自然とのかかわりにおいて、学び方やものの考え方を身に付け、自己の生き方を考えることができる人」「各教科等で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、それらを学習や生活において生かし、総合的に働くことができる人」の3つの姿を目標に各教科と関連付けながら、学年毎にテーマをもって探究的な学習を行っています。今年度からは、新たに「フリースタイル総合」の単元を設定しました。児童の興味関心に合わせて探究する内容、方法、計画を自分で決めて学ぶ学習です。1学期の終わりから夏季休業中にかけてご家庭にも協力していただきながら探究を行いました。2学期の初めに行った発表会では、緊張しながらも生き生きと発表する姿がたくさん見られました。今後も児童が自ら探究できる力をつけられるように指導していきます。

「三鷹中央学園」通信

学園合同あいさつ運動

12月5日(火)に四中、6日(水)に三小、7日(木)に七小で学園合同あいさつ運動を行いました。四中の生徒会の生徒と三小、七小の代表委員児童が一堂に会し、校門の前に立って登校する子供たちにあいさつを元気よく行いました。今年度は代表者会議の提案から5か国語であいさつをしました。卒業した中学生が母校に戻ってきたと子供たちも嬉しそうでした。

学園各校通信「七小」

短縄旬間がありました！

七小では、11月28日(火)から12月5日(火)まで短縄旬間がありました。縄跳びカードをもとに一人一人が目標をもち、寒さに負けずに練習を頑張っていました。体育委員会の5・6年生が低学年の子供たちの検定をしてくれて、頼もしかったです。

学園各校通信「四中」

立春式に向けクラス発表を行いました！

2年生は、今の自分と向き合い将来の自分について考え、自らの志をクラスで発表し、共有することができました。互いに励まし合い、良き社会人になるための心構えと責任を自覚することができたようです。各クラスの代表者は2月16日に実施される立春式で発表します。

